

新型コロナウイルス感染症対策に伴う、

アンフォーレ交流多目的スペース・イベント広場の予約受付および利用への可否基準

<11月～継続> (12/1～当面の間) アンフォーレ総合案内 1/2 ページ

1 利用の条件

国、県のイベントやコンサートなどの人数制限の緩和を受けて、一部の利用貸室の貸出(定員)要件を10月1日より、利用内容によって定員100%まで緩和します。

ただし、イベント全体で5,000人以下とすること。また、全国的な人の移動を伴うイベント等、または参加者が1,000人を超えるようなイベント等を開催する場合は、愛知県(防災危機管理課 052-954-6143)に事前に相談し、相談した旨を窓口に出してください。

2 定員100%利用のための緩和要件

(ア)参加者(観客)全員がマスクを常時着用すること。(水分補給時は除く)

(イ)参加者(観客)が大声で掛け声、歓声、声援などを発しない、または歌唱することがないことを徹底してください。※演者が歌唱等を行う場合、舞台から客席まで一定の距離(最低2m)の確保必要。

(ウ)「利用上の注意事項」をすべて守ること(業種別ガイドラインに則った対策を行うこと。)

※マスクの着用に限らず、運動(ダンス・ヨガなど)・歌唱・楽器の演奏など、日常会話程度より大きい呼気・発声を伴うもの(演者のみの場合を除く)、または飲食を前提(歓談やパーティーなど)とした催しは対象外とする。

※願いごと広場、エントランス利用は別途ルールによる。

※要件を満たさない場合は定員の50%を上限とし、「利用上の注意事項」に留意して開催すること。

ホール・・・収納式座席利用=200人 平土間利用=最大150人

多目的室・・・1・3=最大15人 2=最大30人 1~3利用=最大60人

控室兼会議室・・・1・2=10人

3 願いごと広場(A~H区画)およびエントランス(「利用上の注意事項」に留意してください)

願いごと広場およびH区画・・・密集しないソーシャルディスタンスを守った利用。

エントランス・・・密集しないソーシャルディスタンスを守った利用。(利用可能スペースを限定)。

スペースA(220インチモニター前)・・・最大52㎡以下 4スペースまで

スペースB(ホールガラス面前)・・・最大26㎡以下 2スペースまで

スペースC(総合案内事務所横)・・・最大26㎡以下 2スペースまで(展示は39㎡まで可)

※予約受付時に配置図でご案内します。

4 参加者が自由に行動でき、かつ、入退場や区域内の適切な行動確保ができない場合

(ア)全国的、広域的な人の移動が見込まれるものや、参加者の把握が困難なものは開催を要検討。

(イ)催しを開催する場合は、十分な人と人との間隔をあけ「利用上の注意事項」に留意すること。

5 その他

(ア)催しの内容により、条件が変更になる場合があります。必ず事前にご相談ください。

(イ)今後の社会情勢によっては、利用要件等が変更になる場合があります

《裏面に「利用上の注意事項」あり》

新型コロナウイルス感染症対策に伴う、

アンフォーレ交流多目的スペース・イベント広場の予約受付および利用への可否基準

<11月～継続> (12/1～当面の間) アンフォーレ総合案内 2/2 ページ

◎利用上の注意事項

- 【ア】 「マスクの着用」「人と人の距離の確保」「咳エチケットの徹底」など、基本的な感染症対策を行ってください。また、マスク着用に加え、なるべくフェイスシールドの着用もしくは、アクリル板・飛沫感染予防シートの設置などの感染症対策をしてください。
※主催者自身の対策はもちろん、来場者への対策をお願いします。
- 【イ】 なるべく、大きな声は出さないでください。運動（ダンス、ヨガなど）・歌唱・楽器の演奏などの場合、人と人の間隔を前後左右最低2メートルあけるようお願いいたします。
- 【ウ】 手指消毒・手洗いの徹底。参加者（観客含む。）全員に細めな手指消毒・手洗いを周知し、手で触れたものは、小まめに消毒をしてください。※消毒液は主催者でご準備ください。
- 【エ】 使用した部屋・備品類の消毒の徹底。利用後は、使用した部屋および備品の消毒をしてから、倉庫および総合案内に返却ください。また、運動（ダンス、ヨガなど）・歌唱・楽器の演奏などは床の消毒・モップがけもお願いします。※消毒液、雑巾は総合案内でお貸しします。
- 【オ】 「窓（扉）の開放」による換気の徹底。30分に1回以上、数分間程度、二方向の窓・扉を開放し換気を行うようにし、可能であれば、常時窓・扉を開けるようにしてください。
- 【カ】 密集する場所を作らない。
利用スペース内で人が密集しないように導線や待合場所の確保をしてください。
- 【キ】 食事は、感染防止対策を行っている場所でしてください。また、会話しながらの飲食は極力控えてください。飲食を前提とした催しの場合、フェイスシールドの着用もしくは、アクリル板・飛沫感染予防シートの設置など感染症対策を徹底してください。
- 【ク】 主催者は、参加者（観客含む。）全員へ各自事前に検温するよう周知し、当日結果を確認し、全員に症状がないことを確認すること。特に高齢者や基礎疾患のある方は十分注意ください。
また、37.5度以上あるいは平熱より1度以上高い体温の方、せき、のどの痛みなどかぜの症状のある方、強いだるさなど体調がすぐれない方には、来館を控えていただくよう徹底してください。
※できれば、受付などで当日の検温実施をお願いします。検温器はご準備ください。
- 【ケ】 参加者（観客含む。）は特定された人のみとし、参加者が特定できるよう名簿の作成や接触確認アプリなどの推奨、準備をお願いします。また、可能な限り座席は固定としてください。
- 【コ】 主催者は、参加者（観客含む。）へ利用前後の感染防止（交通機関、イベント後の打ち上げ等）の注意喚起を行ってください。